



木曽川源流の里 木祖村

広報

きそ



木祖村
イメージキャラクター
“源流の源気くん”

2025

9

No.392

令和7年

9月25日



蒸気機関車「D-51」の 塗り替え作業を行いました！

8月18日（月）～8月31日（日）まで、木祖村民センターで屋外展示されている蒸気機関車（SL）「D-51」の塗り替え作業を行いました。木祖村公民館および木祖村 D-51-238 号蒸気機関車保存会の共催で実施し、8月31日（日）には村民センター内で蒸気機関車と同じNゲージの展示走行も行われました。

「D-51」は昭和48年に、中央西線の歴史とともに永く村の文化財として保存することを目的に、長野鉄道管理局から譲り受けましたが、塗装の老朽化が進んでいたことから、村民によるボランティアで塗り替え作業を実施しました。美しく塗り替えられた「D-51」をぜひ見にお越しください。



今月の主な内容

- ・ 村長コラム…………… 2P
- ・ 防災に対する木祖村の取り組み…………… 3P
- ・ 新しい広域バス路線
『きそバス』のご案内について…………… 4～5P
- ・ 令和6年度 決算報告…………… 6～9P
- ・ 令和7年度 木祖村二十歳を祝う会…………… 10～12P
- ・ 公民館だより…………… 13P
- ・ 木祖村郷土館だより…………… 14P
- ・ 源流のもりクラブニュース…………… 15P

- ・ 木祖村地域おこし協力隊活動日誌…………… 16P
- ・ 伊藤一生の恋愛コラム&
きそむらふるさと大使活動報告…………… 17P
- ・ 保育園&子育て支援センターだより…………… 18P
- ・ 放課後児童クラブ日記…………… 19P
- ・ お・や・すミーティングメンバーの活動報告…………… 20P
- ・ 自衛官等募集案内…………… 21P
- ・ お知らせ…………… 22～25P

村長コラム

猛暑に思う



今年の夏は、異常なほど暑かったですね。（もしかすると、このコラムが広報に載る時点でも相当暑いかもしれません。）

全国の最高気温が更新（群馬県伊勢崎市で41.8度を観測）されるなど、とにかく「今日も暑いねー」があいさつ代わりの夏でした。

この暑さの原因は言うまでもなく、「地球温暖化」が影響していることは間違いありません。

先日、気象の専門家である、長野気象台長にお目にかかった時、この猛暑の原因を尋ねてみましたが、やはり温暖化の影響で、偏西風の動きが変わり、1月のコラムでも書いた冬の低気圧の停滞が、夏は高気圧の停滞を招き、非常に暑い日が続いているそうです。

今年は暑いだけでなく、雨が降らずに、一部地域で干ばつが発生したかと思えば、お盆期間には九州地方で線状降水帯が発生して大量の雨が降り甚大な被害があったりと、想定を超える異常気象となっており、この現象は、今年だけではなく、これからも続いていくと見込まれています。

では、私たちはどうしたらよいか？ですが、これは、自分たちにやれることをできる範囲でやっていくしかないと思っています。

世界最大のエネルギー消費国が政権が代わるたびに温暖化への向き合い方が変わることは残念な限りですが、世界、日本、長野県そして木祖村がそれぞれ住民を巻き込んで、温暖化対策を積み重ねていくことが重要です。

木祖村では、県内自治体では先駆的に水力発電の事業化を目指しています。

笹川の押出地域から取水し、水木沢入口の県道付近に発電所を建設する計画ですが、これが事業化できれば、小木曽地域全体の電力需要を賄えるだけの発電が可能になります。

また、本村の資源である森林を守り、二酸化炭素の吸収量を保つことや、生ごみを燃やさずに処理することなど、小村による取組は世界全体からみればほんの僅かではありますが、この猛暑を機に地道に取り組んでいく必要性を改めて感じた夏でありました。

木祖村長

奥 原 秀 一

9月1日は防災の日。自然災害に備えましょう 防災に対する木祖村の取り組み

毎年のように発生する、大雨、台風、地震等による被害。これら自然災害から命を守るためには、日ごろから防災知識を身につけ備えをしておく、そして、災害発生のおそれがある場合には防災情報をキャッチして迅速に避難することが大切です。

災害はいつなにか発生するかわかりません。自分自身の命は自分で守ることが大切です。今一度、この機会に家庭内で備蓄品などの確認をしてみるのはいかがでしょうか。

災害時の備え

いつ起こるかわからない台風や地震、大雨などの大きな災害。いざ災害が発生すると、電気、ガス、水道などのライフラインが使えなくなったり、道路ががれきで塞がれたり水没したりして、物流が機能しなくなったりするおそれがあります。過去の災害を見てみると災害発生からライフラインの復旧まで1週間以上かかるケースがほとんどです。このため、最低でも3日分、できれば1週間分くらいの食品を家庭で備蓄しておくことが重要です。

どれだけ備蓄すればいいの？

家庭の人数や好みに応じた備蓄内容や量を検討しましょう。

備蓄例

- ・飲料水 1人1日3L 程度
- ・カセットコンロ、ボンベ 1人1日1本弱程度
- ・携帯食・非常食（チョコレート・クラッカー・缶詰・栄養補助食品等）1日3食分
- ・毛布、寝袋、新聞紙、ガムテープ、トイレットペーパー、ロープ、スコップ等の工具



村の備蓄品

村では防災倉庫を転作研修センター、老人福祉センター、菅公民館に設置して、飲料水や食料品、毛布、石油ストーブ等を整備しております。

昨年度はマンホールトイレ設置、購入を行い、今年度は避難テント、段ボールベット、乳幼児・高齢者用おむつ等を購入する予定です。

ほぼすべての自治会でも防災倉庫を設置しております。

村では自治会で購入した防災備蓄品について購入金額の5分の4（限度額4万円）の補助金を交付しています。



災害時の 村からの情報提供について

避難情報や道路状況等の防災状況等については防災行政無線、音声告知端末、村公式 LINE、村ホームページ、ケーブルテレビ等様々

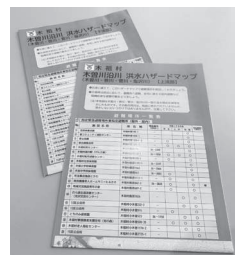
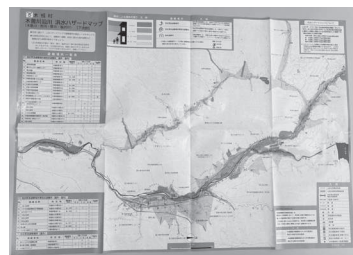
は媒体を活用して情報提供しています。今年10月より電話機を使った防災情報システム、シン・オートコールを導入します。皆様のご登録をお願いします。

村の避難所

村では指定避難所が29か所、指定緊急避難場所が32か所あります。詳細の場所は木祖村木曽川沿川洪水ハザードマップをご覧ください。

洪水ハザードマップ

村では木曽川沿川洪水ハザードマップを令和6年3月に更新し全戸配布をしております。このマップは想定し得る最大規模の降雨を想定し、浸水した場合の水深を表示した図面になっています。



災害時住民支えあいマップ

村と木祖村社会福祉協議会では自治会の隣組で災害時住民支えあいマップを作成しています。支援が必要な人はいないか、避難場所はどこか危険な場所はないかなどマップに記載されています。支えあいマップは年1回に見直しを行っています。

新しい広域バス路線 『きそバス』のご案内について

人口減少や高齢化、公共交通のドライバー不足が進む木曽地域において、住民の生活を支える公共交通の安定した確保は必要不可欠となっています。そこで、郡内6町村をはじめ、県、交通事業者、地域住民が連携した地域公共交通網の再構築を行い、令和7年10月1日（水）から新しい広域路線バス「きそバス」の運行が始まります。

木曽を走る4つの広域幹線バス

- ・木祖村～木曽病院までの運賃は200円！
キャッシュレスも導入予定です！
- ・通院・通学・買い物・観光の移動手段が増えます！

●開田幹線 (神田宮前～木曽病院)

- 西部幹線
三岳系統（三岳交流促進センター
～塩渕・A コープ）
王滝系統（王滝～塩渕・A コープ）

- 南部幹線
上松系統（バス回転場所
～木曽福島駅）
坂下系統（弥栄橋～木曽福島駅）

●北部幹線

- 藪原系統（木祖村～木曽病院）
木曽駒系統（大原上～木曽病院）



○きそバス北部幹線について

木祖村役場を出発点とし、木曽病院まで運行するバスです。途中、木曽町日義地区や福島地区の街中を経由しながら運行します。村では福祉タクシーにより木祖村～木曽病院間を送迎していましたが、10月以降はきそバスでの運行となります。

きそバスに乗るためにはデマンドタクシーや村内巡回バスにより、きそバス停（役場前、奥原医院前、藪原駅、吉田、巴淵（日義））まで移動していただき、乗り換えをお願いします。

きそバス北部幹線（藪原系統）の時刻表について

○きそバス上り（木祖村→木曽病院）

バス停	上り 1 便 (平日・休日)	上り 2 便 (平日)	上り 3 便 (平日)	上り 4 便 (平日)	上り 2 便 (休日)	上り 3 便 (休日)
木祖村役場	8:05	10:00	13:00	15:00	10:15	14:30
奥原医院前	8:07	10:02	13:02	15:02	10:17	14:32
藪原駅	8:10	10:05	13:05	15:05	10:20	14:35
吉田	8:13	10:08	13:08	15:08	10:23	14:38
山吹橋	8:16	10:11	13:11	15:11	10:26	14:41
巴淵	8:18	10:13	13:13	15:13	10:28	14:38
▼日義～木曽福島間を運行▼						
木曽福島駅	8:46	10:41	13:41	15:41	10:56	15:11
塩渕	8:47	10:42	13:42	15:42	10:57	15:12
A コープ	8:48	10:43	13:43	15:43	10:58	15:13
木曽病院	8:50	10:45	13:45	15:45	11:00	15:15

(■：平日・休日 ■：平日 ■：休日)

○きそバス下り（木曽病院→木祖村）

バス停	下り 1 便 (平日)	下り 2 便 (平日)	下り 3 便 (平日)	下り 4 便 (平日)	下り 1 便 (休日)	下り 2 便 (休日)	下り 3 便 (休日)
木曽病院	9:00	11:30	14:05	15:52	9:10	12:05	15:25
A コープ	9:02	11:32	14:07	15:54	9:12	12:07	15:27
塩渕	9:03	11:33	14:08	15:55	9:13	12:08	15:28
木曽福島駅	9:04	11:34	14:09	15:56	9:14	12:09	15:39
▼木曽福島～日義間を運行▼							
巴淵	9:31	12:01	14:36	16:23	9:41	12:36	15:56
山吹橋	9:32	12:02	14:37	16:24	9:42	12:37	15:57
吉田	9:36	12:06	14:41	16:28	9:46	12:41	16:01
藪原駅	9:39	12:09	14:44	16:31	9:49	12:44	16:04
奥原医院前	9:42	12:12	14:47	16:34	9:52	12:47	16:07
木祖村役場	9:44	12:14	14:49	16:36	9:54	12:49	16:09

※詳細は木曽広域連合 HP をご覧ください。

令和6年度 決算報告

※万円単位での四捨五入のため、合計数値等が不突合となっている場合があります。

☆一般会計

歳入	歳出	差引
33億2,621万円	32億3,429万円	9,192万円

令和6年度は
約9千万円余の黒字決算

☆特別会計

特定の収入を特定の事業に充てる会計で、歳入・歳出を事業内でやりくりしています。

事業名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	2億8,005万円	2億7,790万円	215万円
後期高齢者医療制度	5,202万円	5,154万円	48万円

☆事業会計

令和2年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度が適用されています。

【簡易水道事業会計】

1. 収益的収入及び支出

区分		決算額
収入	簡易水道事業収益	1億5,058万円
	営業収益	5,758万円
	営業外収益	9,300万円
支出	簡易水道事業費	1億773万円
	営業費用	9,809万円
	営業外費用	964万円

2. 資本的収入及び支出

区分		決算額
収入	資本的収入	1億5,208万円
	企業債	8,590万円
	国庫補助金	6,618万円
支出	資本的支出	1億7,612万円
	建設改良費	1億3,684万円
	固定資産購入費	243万円
	企業債償還金	3,685万円

【下水道事業会計】

1. 収益的収入及び支出

区分		決算額
収入	下水道事業収益	1億7,668万円
	営業収益	4,447万円
	営業外収益	1億3,221万円
支出	下水道事業費	1億7,036万円
	営業費用	1億5,502万円
	営業外費用	1,534万円
	特別損失	0

2. 資本的収入及び支出

区分		決算額
収入	資本的収入	8,811万円
	企業債	200万円
	他会計補助金	8,411万円
	国庫補助金	35万円
	負担金等	165万円
支出	資本的支出	1億3,847万円
	建設改良費	368万円
	固定資産購入費	12万円
	企業債償還金	1億3,467万円

☆基金

条例で定められた目的・使途に使うお金。

区 分	現 在 高	増減率 (前年度比)
財政調整基金	15億5,308万円	2.4%
減債基金	887万円	0%
特定目的基金	7億7,075万円	△0.6%
定額運用基金	5,115万円	0.0%
合 計	23億8,385万円	1.4%

☆村債

国や金融機関から借り入れる資金

区 分	現 在 高	増減率 (前年比)
一般会計	28億463万円	△5.3%
簡易水道事業	11億7,186万円	4.4%
農業集落排水事業	2億3,960万円	△17.1%
公共下水道事業	4億9,754万円	△14.3%
合 計	47億1,363万円	△4.8%

一般会計における村債（村の借金）の残高は28億463万円（村民一人当：112万円）で前年度より1億5,646万円減少（村民1人当は4万円減少）し、基金（村の貯金。定額運用基金は除く）の残高は23億3,270万円（村民一人当：93万円）で前年度より3,203万円増加（村民一人当も3万円増加）しました。

☆令和7年3月31日現在の住民基本台帳に基づく人口（2,497人）から算出しています。

村のお財布状況を評価すると？



村のお財布は大丈夫？

赤字や資金不足がなく、健全に運営されています。

この数値を超えると「危険信号」。健全化へ向けた取り組みが必要となります。

指 標	どんな比率を表すの？	木祖村	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	全ての会計（一般会計、特別会計、公営企業会計）の赤字の割合	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	8.2%	25.0%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350.0%
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の大きさを示す割合	資金不足なし	20.0%

木祖村は赤字や資金不足がないため、実質公債費比率を除く全ての項目で数値が算出されませんでした。また、実質公債費比率についても危険度を示す25%を下回っており、村の財政は健全といえます。



一般会計決算をグラフで見ると

歳入
33億2,621万円

歳出
32億3,429万円

自主財源 9億1,614万円

依存財源 24億1,007万円

村税
(村民税や
固定資産税など)
(5億2,766万円)

村民税は、法人村民税が村内企業の収益増等により増収となったが、味噌川ダムの固定資産税（償却資産税）の減少により村税全体では前年度より減少となりました。

その他
(財産貸付収入や
使用料など)
(3億8,848万円)

内訳
繰入金 1億1,178万円
繰越金 6,742万円
諸収入 1億3,205万円
財産収入他 7,723万円

地方交付税
(所得税や酒税等の国税の一部が、人口や面積などに
応じて地方へ交付されるもの)
(16億6,060万円)

最も大きな割合を占める地方交付税は、前年度と比べ8,595万円の増額となりました。内訳として、普通交付税が5,419万円増額、特別交付税は3,176万円増額となりました。

もっとも多く借り入れた地方債は過疎対策事業債（1億1,450万円）で、塩沢大橋修繕工事（3,340万円）、こだまの森巨大迷路改修工事（第1期分）（2,000万円）、橋梁改修事業（1,440万円）等に充当しました。

村債
(村が事業を行うために
借り入れたお金)
(2億4,579万円)

国庫支出金は地方創生臨時交付金や低所得者支援及び定額減税補足給付金、障害者自立支援事業に係る負担金が主なものですが、令和6年度は道路メンテナンス事業費補助金（4,692万円の増額）や児童手当負担金、社会保障・税番号対応補助金が増加し大幅な増額となりました。

県支出金は障害者自立支援事業負担金や福祉医療費給付事業に係る補助金が増加や水の恵みを未来へつなぐ交付金の皆増となり、前年度より増額となりました。

国庫支出金
(国からの補助金や
負担金、交付金)

県支出金
(県からの補助金や負担金、交付金)

その他

主な事業
空き家対策事業 (4,729万円)
地域振興バス運行事業 (4,438万円)
地域おこし協力隊事業 (3,747万円)

主な事業
障害者自立支援事業 (9,874万円)
保育所運営経費 (8,241万円)
介護保険事業（木曽広域連合負担金） (5,952万円)
後期高齢者医療制度事業 (4,691万円)
低所得者支援及び定額減税補足給付金事業 (4,077万円)

主な事業
道路施設長寿命化事業 (1億1,862万円)
村道冬期管理費 (1億1,500万円)
下水道事業繰出金 (1億936万円)
村道奥木曽2号線道路改良工事 (7,483万円)

主な事業
特別支援教育支援員・外国語指導助手等職員配置 (2,358万円)
スクールバス運行事業 (1,359万円)
公民館運営・施設維持管理費 (1,116万円)

主な事業
下水道事業会計繰出金 (7,035万円)
公有林整備事業 (2,710万円)
農山漁村振興交付金事業 (1,350万円)

主な事業
簡易水道事業会計繰出金 (6,329万円)
子育て世代包括支援センター事業 (826万円)
予防接種事業 (783万円)

主な事業
木曽広域消防負担金 (7,212万円)
ふれあいセンターはなのき防災倉庫建築工事等 (4,492万円)

主な事業
こだまの森巨大迷路改修工事 (3,757万円)
木祖村観光協会交付金 (2,620万円)
スキー場維持費 (1,154万円)

総務費
(7億4,918万円)

民生費
(5億5,178万円)

土木費
(5億410万円)

公債費
(4億861万円)

教育費
(2億1,302万円)

農林水産業費
(2億632万円)

衛生費
(1億9,369万円)

消防費
(1億5,841万円)

商工費
(1億3,553万円)

その他

村民1人당당りに使われたお金は？

合計 約1,295,000円

高齢者福祉・
児童福祉の充実
(民生費)
約231,000円

道路や橋りょうの
整備
(土木費)
約256,000円

行政の運営、
地域自治の推進等
(総務費)
約259,000円

村債の返済
(公債費)
約164,000円

商工振興、観光振
興及び施設整備等
(商工費)
約72,000円

予防接種、各種検
診、健康増進等
(衛生費)
約78,000円

教育の充実
(教育費)
約86,000円

その他
(農林水産業費、
消防費、議会費等)
約149,000円

☆令和7年3月31日現在の住民基本台帳に基づく人口(2,497人)から算出しています。

☆地方財政状況調査等資料の数値により算出しています。

木祖村の家計簿 (もし木祖村が年収400万円の家庭だったら)

村の予算は金額が大きすぎて、実感がわかないかもしれません。そこで、一般会計予算を約800分の1の額にして、家計簿(年度分)に例えてみました。

【収入】

給与(村税、分担金・負担金、 使用料、手数料)	675,000円
貯金からの引き出し(繰入金)	134,000円
前年度からの繰越(繰越金)	81,000円
雑収入(諸収入、財産収入)	211,000円

他に頼らないお金 27.5%

親からの仕送り(地方交付税、 国・県支出金等)	2,603,000円
ローン借り入れ(村債)	296,000円
合 計	4,000,000円

【支出】

食費 (人件費)	756,000円
医療費、学費 (扶助費)	268,000円
ローン返済 (公債費)	504,000円
光熱水費、日用品の購入費 (物件費)	620,000円
自宅の増改築・修繕 (維持修繕費、投資的経費)	739,000円
子どもへの仕送り (繰出金)	153,000円
自治会費、その他会費 (補助費)	852,000円
貯金 (投資・出資・貸付金)	108,000円
合 計	4,000,000円

令和7年度 木祖村二十歳を祝う会



8月10日(日)、木祖村役場において村と公民館主催による「木祖村二十歳を祝う会」が挙行され、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた男性9名、女性13名、あわせて22名が大人の仲間入りをしました。

式典の様子

式典には18名が参加し、村長、来賓の栗屋正一議会議長様、恩師代表の長谷川松実先生から祝福や激励の言葉をいただきました。

また、今年も村長をはじめ来賓の方々を交えて、一人ずつ近況報告や木祖村への思いを出し合う場としてスピーチを車座で行いました。久しぶりの同級生や恩師の先生方を前に緊張することなく、真剣に耳を傾けて聞き入ることができた有意義な場となりました。



恩師の長谷川松実先生

車座でのスピーチ



二十歳の主張

2名の方に「二十歳の主張」を述べていただきました。



奥原空舞さん

私は3月に専門学校を卒業し、4月から新社会人として愛知県で自動車の制御装置を開発するエンジニアをしています。

主にバックドアの制御装置の開発を担当しています。制御装置は事故にも直結する重要なパーツであり責任の重さを感じながら日々仕事に励んでいます。まだまだ勉強の身ですが、一日でも早く人の役に立てれる製品を開発して一人前のエンジニアになりたいです。

また、生活面では一人暮らしも始めました。初めての一人暮らし、当初は「気楽だ」、「自由だ」とワクワクしていましたが、今住んでいる安城市は木祖村と違い周りは山でなくビルばかり、毎日満員電車で揺られ、仕事でクタクタになって帰宅する日々

でまだまだ慣れないのが本音です。

これまで実家では家に帰れば温かいご飯やお風呂が当たり前のように用意されていて沢山甘えさせてもらったんだと改めて親のありがたみを感じています。

20年間過ごした木祖村は山ばかりの田舎で何もなく、子供の頃は早く都会に出たいと思ってました。しかし、いざ自分が都会で生活し、外から木祖村を見るようになり、木祖村のスカッとした気持ちのいい気候も、木祖村の四季の景色も、周りから聞こえてくる小木曽弁もやっぱり自分は木祖村好きだなあと感じます。

そんな故郷木祖村を離れての生活に寂しさも感じますが、これまで支えてくれた家族や友人、先生方、そして地域の皆さんに感謝をし、社会人として大きく成長した姿をお見せできるよう愛知県で精一杯頑張っていきたいと思います。

本日は私達のためにこのような場を設けていただき、誠にありがとうございました。



記念品贈呈



万歳三唱

二十歳の主張



奥谷春流さん

本日は私たちのためにこのような素敵な会を開いて頂き、ありがとうございます。実行委員長のけーちゃんはじめ、実行委員のみんなもありがとう。皆さんのおかげで今日、久しぶりに木祖村にみんなが集まれた事、大変嬉しく思います。

私は現在、沖縄県石垣島で、ダイビングインストラクターとして働いております。木祖村と同じくらい自然豊かな場所です。その場所で、仕事に遊び、毎日充実した生活を送っています。

高校を卒業後、沖縄に飛び、沖縄本島的那覇で、ダイビングや筋トレ、栄養などについて2年間学びました。私はこれまで沖縄に行った事はありませんでした。その未知の土地は思ったより都会で驚きました。いざ、入学したはいいものの、普段使う言葉が違いすぎて理解出来ず、すごく戸惑いました。今となってはそれもいい思い出です。無事専門を卒業して、今年度からマレア・クリエイトに就職し、石垣島に配属されました。趣味を仕事にするを具現化したような仕事だと思います。毎日海に入って、3mくらいある大きいマンタを見たり、可愛いカメを見たり時にイルカに遭遇したりと、とっても楽しいです。ですが、人の命を預かるという重大な責任があります。いかに安全にダイビングし、楽しませるかがこれから先も続くインストラクター生活の課題になります。私なりに精一杯頑張ります。

沖縄に出てから、地元愛が更に増しました。専門学生時代には、年に4回くらい帰っていました。帰る度に「おかえり」と温かく迎えてくれる、こんな素敵な所はなかなか無いと思います。今年から帰れる回数は減ってしまいましたが、年に1回この時だけは何があっても帰ります。それは菰原祭りです。高校三年生の時、上獅子神風講社の特別社員として入社させてもらった時のあの喜びは今でも忘れません。3度もお父さんと親子獅子が出来たこと、社長の年に参加出来たこと、神風講最後の掛け合いで笛を吹けたこと、私の獅子舞で張り棒をやらしてもらえたこと、そして同級生とお祭りが出来ること、たくさんの大好きな思い出が菰原祭りにはあります。私は菰原祭りが大好きです。このお祭りがある地元が大好きです。年を重ねる毎にお祭りへの熱が増し続けています。沖縄に出て来てしまった為、練習はなかなか行けませんが、それでも帰った時には仲間に入れてもらえて、本当に素敵な村に生まれてこられて良かったなと心から思います。

最後に、今日まで私を見守ってくださった地域の皆さん、本当にありがとうございました。そして、たくましく育ててくれたお父さん、お母さんも本当にありがとう！いつまでも大好きだよ♡お父さんのように、仕事も楽しみ趣味も楽しむ、お母さんのように、強く優しい、そんな大人になります。これが私の20歳の主張です。



中学3年の
「おおとり祭」
で作ったロゴを会場に
かざりました。



公民館だより

今年度事業もほぼ半数を実施してきました。参加された皆様のご協力によりこれまで無事に講座を終えているところです。これから開講する講座もあります。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。今回は前号でご報告できなかった講座について紹介いたします。

6/12(木)～陶芸教室始まりました



制作初日です



釉薬掛けです



本焼きを待ちます

❖ 知ってましたか？

よく見るロゴマークですが、これは文部科学省が制定している生涯学習のイメージキャラクター「マナビィ」です。故・石ノ森章太郎氏がデザインしました。木祖村公民館ではこのロゴマークを「マナビィ」と変えて「マナビィ通信きそ」などで使っています。



分館だより

藪原分館

8月1日(金)ピラティス講座が開催され、15名が参加・体験しました。また、8月9日(土)には小木曽グラウンドにて昆虫ライトトラップを開催しました。大勢の方が参加し、子供たちはカブトムシ、クワガタを持ち帰ることができ喜んでいただきました。



小木曽分館

7月21日(月)奥木曽水上アクティビティ体験会を開催しました。夏休みに入り25名の大勢の子供たちが参加しました。気温も上昇し絶好の日和のなか、カヌーやSUPのほか水上遊具を体験し、夏の日を楽しみました。



吉田分館

7月27日(日)に林道の草刈と花壇の手入れを行いました。荒れた林道を整備していただいたおかげでスムーズに移動することができ、順調に作業を終了することができました。



関係者に御礼申し上げます。
花壇もきれいになり、気持ちよくお盆を迎えることができました。皆さんお疲れさまでした。

菅分館

7月6日(日)に菅公民館の清掃を行いました。「趣味の会」と「きさらぎ会」の活動が5月から始まり6月には諏訪方面にいき楽しんで来ました。7月からは、文化祭の展示会に向け、作品制作を始めています。10月に開催される文化祭に向けてみんなで張り切っています。文化祭当日は、ぜひ菅公民館の会場へお越しください。

木祖村郷土館だより

夏休み校外授業「AtoZ と木祖村散歩」

木祖村郷土館の企画展「木祖村アーティスト・イン・レジデンス2025」のプログラムの1つとして、木祖中学校2年生18名と総合の時間を使って「令和の民話を作ろう」というテーマに演劇の授業を行っています。今回は夏休みを使って2年生の有志の生徒とアーティストが『木祖村でいきたい場所』を巡り、吉田、菅、小木曽、藪原から10か所を訪れました。見慣れた景色や初めての場所について同級生と話しをしながら自分たちの生活する村について知る機会となりました。



吉田の指月庵



きさらぎ神社



こだまの森

校外授業後は巡った場所のエピソードから2分ほどの短い演劇を作りました。テーマは『記憶に残った場所』です。講師のいけだとも実さんによるアドバイスを受けながら、9月のおおとり祭の発表に向け制作していきます。



藪原宿

木曽ミュージアム双六はんこラリー開催中

8月4日（月）から11月30日（日）まで木曽郡内7町村のミュージアムを巡るはんこラリーを開催しています。はんこを3個集めた方には木祖村在住の澤頭修自さんが撮影した写真ポストカードを、7個集めた方にはオリジナルステッカーと達成証書をお渡しします。ぜひご参加ください。

*令和7年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業



お問い合わせ 木祖村役場教育委員会事務局 ☎36-3348

木祖村郷土館（火～日曜日 9:00～16:00）月曜休

NEWS

1

源流夏祭りに出店しました

源流夏祭りには、源流のもりクラブも昨年に引き続き出店しました。ブースでは体組成（体脂肪率など）測定、握力測定、ストラックアウト、モルック、ラダーゲッター体験を行いました。老若男女問わず多くの方にお越しいただきました。



NEWS

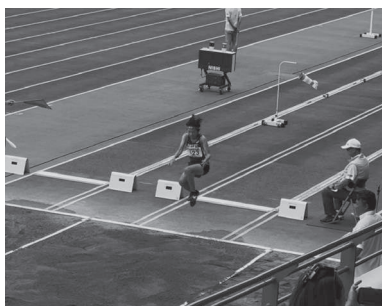
2

第11回東海小学生陸上大会に出場しました

8月23日（土）に三重県伊勢市で開催された第11回東海小学生陸上競技大会に木祖小学校6年生の松原楓佳さんと湯川葵さんが出場しました。松原さんは6年生女子100m（14秒25 予選1組7位）、湯川さんはコンバインド B（走幅跳3m07・ジャベリックボール投げ38m38 総合24位）に出場しベストを尽くしました。



6年女子100m（松原さん）



走幅跳（湯川さん）



ジャベリックボール投げ
（湯川さん）

木祖村総合型スポーツクラブ会員募集

年会費 4,500 円（スポーツ保険代・体育施設使用料・手数料含む）

※中学生以下、65 歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は 2,000 円、高校生は 3,500 円です。

木祖村総合型スポーツクラブ事務局 ☎ 36-3500(まめのわ内) 月・水～金曜日 9:00～17:00

まめのわフィットネスルーム…月・水～土曜日 9:00～21:00、日曜・祝日 9:00～17:00

まめっとカフェ…月・水～金曜日 9:00～17:00（ラストオーダー 16:30）

木祖村地域おこし協力隊員の3人から皆さんへのお便り

木祖村にお住まいの皆さまへ

現在、木祖村では丸山・井上・桑葉の3人の隊員が活動しています。農業振興・伝統継承木工振興と、それぞれのテーマをもって、木祖村の課題解決や地域力の維持・発展のため、日々励んでおります。この“お便り”では、そんな私たちの活動や日常を「地域の皆さまに知ってもらいたい！」という思いのもと、お手紙をしたためるように、紹介させていただきます。左のQRコードより自己紹介や他の活動についてもご覧いただけます。



秋の實りに心躍らせ

井上 隊員より
伝統工芸お六櫛の修行中



こんにちは。移住2年目の夏が終わりました。木祖村の夏は涼しいと聞いていましたが、それを実感できない夏でした。そんな暑い夏が終わり過ぎてしやすい秋になってきました。秋といえばスポーツの秋、芸術の秋、色々ありますが、皆さんの秋は何ですか？やはり秋といえば食欲の秋ではないでしょうか？松茸、栗、サツマイモなども楽しみですが、**今年の春に田植えを手伝う機会があり、お米の収穫がすごく楽しみです。**また、芸術の秋ということになると思いますが、木祖村文化祭もあるのでそちらも楽しみにしています。年々秋が短くなった、一瞬で過ぎてしまうなどと聞いていますが、**東京では感じることでできなかった季節の移り変わりをしっかり味わいたいな**と思っています。皆さんは**どんな秋をどのように楽しんでいるのか聞かせてくれたら**ありがたいです。



歴史を訪ね歩き思いを巡らす旅

丸山 隊員より
村での農業に向き合う



こんにちは、丸山です。暑いですね。畑と格闘しつつ、家では本を読んだり書き物をしたりしています。学生の頃は青春18きっぷを使って各地を旅しました。今もし行けるなら、広島や知覧、そして会津若松に足を運びたいと思っています。**記念館や史跡では、当時の兵士の装備など実物に触れることができ、本で読むよりも迫力を感じます。**これまで山本五十六記念館や護国神社、広島などを訪ねてきましたが、川の中に今も遺物が残っている場所もあり、歴史が身近に迫ってくる体験でした。小学生の頃に白虎隊を知ったのがきっかけで、会津若松には何度も通いました。**同じ場所でも年齢を重ねて訪れると新しい発見があり、繰り返し行く面白さ**

あります。近くでは藤村記念館も気になっており、時間を見つけて訪ねてみたいと思っています。農作業に追われる日常の中ですが、こうした旅を思い描くことが、自分を振り返る大切な時間になっています。

暑さ飛ばす爽やかな香り

桑葉 隊員より
村の木工振興に取り組む



8月の初め名古屋市科学館で行われた木曽檜触れるワークショップ。夏休みの小学生親子向けの科学実験を主体とした毎年恒例のイベントになりました。私が携わるようになって4年となり**イベント自体の安定感と信頼感と共に、参加者の反響と反応が良くなっていく**のが感じ取れます。本題の檜に触れる内容はなんなのかという檜の荒い粉からアロマオイルを抽出する実験と檜の鮑屑を使ったポンポン作りの二本立て。檜の香りを引き出すとあって実験室はとて素晴らしい香りに包まれ、その空間で檜自体を裂くという体験を通して木の違った側面を感じてもらいます。普段接することの少ない**生木を更に感じられる体験は私達木祖村の人からしても特別な体験**だと思います。こういった活動は木工振興の一環で行なっていることですが木祖村の外に多く発信するだけではなく、村内に向けても発信していかないと**自然の持っている違った側面を知ってもらうことも大事な事**だと最近思う事もあり木工振興のあり方をまた考えさせられるイベントとなりました。今後の村への発信をご期待ください。



木祖村観光大使&恋愛カウンセラー
伊藤一生の恋愛コラム

Vol.44

出会いに対する考え方

今回は「出会いに対する考え方」のお話です。

ぼくは木祖村の観光をPRするときにどのようなお客さん層が興味を持ってくれるか、どこにPRすべきかを考えてPR活動をしています。

例えばこだまの森のPRですと、子供連れの家族層が興味を持ってくれそうだなと考えられますよね。そうすると自然と子供を連れた家族が訪れる場所がPR場所になってくると思います。

子供が喜んで寄ってきてくれて親にPR出来るようなイベントは？と考えると自分が取れるPR方法としては「ご当地キャラクターイベ

ントに出展」が最適解となります。

さて、ここからが恋愛コラムとしての本題です。物静かで読書が好きな方と出会いたいとします。その相手と出会いたい場合、読書サークルと音楽フェスで出会える可能性を考えた場合、読書サークルのほうが出会える可能性が高そうですね？

このように自分がどういった方と出会いたいかを考えてみると行動範囲も変わってくると思います。

野球好きな人と会いたければ野球ファンのコミュニティに参加してみたり、自分がどうしたいかを考えて、それにはどうしたらよいかを考えてみるのも良い手段かもしれません。

焦ってやみくもに行動して後悔される方も多いので、たまには休憩して自分が求めていることを考えてみるのもよいのかなと思います。

ご自身にとって良い結果が出せることを祈っていますね。

伊藤さんへの質問や相談を募集しています。

「婚活イベントに参加しても上手くいかない…」、「気になる人と仲良くなりたい」などのお悩みがある方はメールにてご相談ください。伊藤さんが丁寧に答えします！

ご希望の方は右のQRコードよりメールをお送りください。

※ QRコードを読み取るとメール作成画面になりますので、お悩みをご記入の上、送信してください。匿名での相談もOKです。

※回答には少しお時間をいただきますので、ご了承ください。



★きそむらふるさと大使活動報告

夏はスキー場の営業活動や、秋冬のイベントの打ち合わせ等をメインで行っていました。広報きそが出ているところには色々お知らせが出ているのかなと思います。

いっせーは暑い中だとなかなか活動が出来ませんが、大阪府交野市でのイベント参加、こだまの森で子供たちとの触れ合い、源流夏祭りにも参加しました。

村やアンテナショップへ来てくれるファンの方も増えており、こだまの森で出演中に会ったり、ちょくちょくX(旧Twitter)での報告をして頂けたりと活動の結果が目に見える形で出てきていることを嬉しく思います。

特産品に関しても秋冬のイベントでの発注量を調整して、販売量が去年度より多くなるように頑張っていきたいと思います。秋はイベントシーズンなので木祖村の魅力を伝えられるように頑張っていきます。

★きそむらふるさと大使とは

木祖村を広くPRするために設置されています。日常生活や仕事、また人から人へのつながりなどの機会を通じて、木祖村の持つ魅力をボランティアで広報していただいています。県外へのイベント出展にかかる交通費や出展費用、チラシ等の宣伝素材等は全額ふるさと大使の自費で行っております。



お問い合わせ 木祖村役場 総務課 (結婚支援担当) ☎ 36-2001

小保連絡会《小学校の先生と交流》

8月4日、とちのみ保育園の年長児と小学校の先生との交流がありました。この交流は小学校の先生方に保育園の取り組みや子どもたちの様子を知って頂き、子どもたちと一緒に遊ぶことでお互いをより身近に感じられるようになることを目的として行っています。事前に年長児が先生たちとやりたいことを考え『だるまさんがころんだ』と『かくれんぼ』をして楽しみました。

先生とペアを組んで行った遊びは盛り上がり、子どもたちも先生に親近感を持つことができ、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

今後も、入学にむけて小学校との関わりを大切にしていきたいと思っています。



沢山の先生に見守られて少し緊張気味の子も達



先生たちとくじ引きでペアを組みました
一気に身近な存在となりました



だるまさんがころんだっ



まーだだよ！

ママだけの時間

7月16日に、にこにこ広場を開催しました。今回は「ママトーク」と題して、好きなお菓子や飲み物を持ち寄りママだけのゆったりおしゃべり時間。子育て以外にも自分の話や好きなものについての話もできたり、初対面でも和気あいあいと女子トークができ、とても楽しい時間となりました。たまにはママたちだけの時間も必要ですね！子どもたちは子育て支援センターで楽しくうちわ作りをしました♪



放課後児童クラブ日記

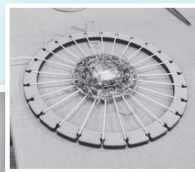
7月22日から8月20日までは小学校が夏休みのため、児童クラブは1日開所をしていました。多い日は50名の子ども達が来て過ごしました。水遊び、5・6年生の調理実習・物作り体験などを行いました。

物作り体験では平野らすかるさんを講師にお招きし、名古屋市のNPO法人『ひょうたんカフェ』で作成されている「カラフルまる織りブローチ」を作りました。「ひょうたんカフェ」は障がいを持った方々の就労支援と社会参加を支援するNPO法人で、福祉施設でもあり、街のドーナツ屋さん、お豆腐屋さん、焼菓子、クラフト雑貨屋、織物工房でもあります。こども達は「ひょうたんカフェ」の皆さんとオンラインで交流し、仕事風景を見せていただくなど貴重な経験をすることができました。

今年の夏休みも地域の皆さんのご協力で安全に楽しく過ごすことができました。



ひょうたん
カフェの方
と交流



ブローチ

ブローチと
お友だちと
記念写真

モノづくり体験

平野らすかるさんに講師をしていただき糸や布を紡いで『カラフルまる織りブローチ』を作りました！まん丸織り機は平野さんお手製です☆



ブローチ作り風景

5・6年生の調理実習は食改の方にお手伝いいただき安全に楽しく料理を作ることができました。できた料理は、みんなで美味しくいただきました☆



調理風景



盛り付け



みんなでピース！

みんなで食べるご飯は楽しくて美味しくて最高です！！

木祖村教育委員会事務局 担当：篠原 ☎ 36-3348

お・や・すミーティングメンバーの活動報告

きそむら1日花屋さん

2025.8.11（月・祝）藪原宿藤屋テラス

きそむら1日花屋さんOPEN！

雨予報でしたが、たくさんの方に来ていただきありがとうございました！



ドライフラワーを使用したレジン小物のワークショップも子供たちがとても楽しんでいました。



みんなの笑顔がたくさん見れて素敵な1日になりました。



お・や・す openday

交流の場所づくり：やってみたいを実現する場所

2025.6.22（日）ほおばまき



「作ってたくさん食べたい！」と朴葉巻き作りを開催。県外から参加くださった方もいて、良い交流が生まれました。みんなのやりたいことも聞いたので、実現していこうと思います。

2025.7.20（日）流しそうめん



前回の openday でみんなからもらったやつてみたい。の中から、「流しそうめん」を開催しました。色んな種類の薬味も用意しました。それから、ミニトマトやゼリーやキュウリやわかめも流してみました。夏のいい思い出になったね。

お・や・す
ミーティング

詳細はこちら



いろんなテーマでいろんな場所で開催しています。
ぜひ遊びに来てください。お待ちしております！

自衛官等募集案内

皆さんは、自衛隊の仕事を知っていますか。

国家を守る公務員。それが、自衛官です。

領土・領海・領空の領域から国家の平和と独立を守るのが自衛官の使命です。災害時には救援活動を行い、医療等の対応だけでなく、海外での国際平和協力活動なども行います。

自衛隊で働くということ

陸・海・空の領域、戦車や艦艇、航空機を扱う分野から人事・総務まで、自衛隊には多彩な職種職域があります。幅広い選択肢の中から自身の適性に応じた分野で活躍できます。

○募集日程

募集種目	応募資格	受付期間	試験日
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒	【推薦】 男子で中卒(見込含) 17歳未満の成績優秀 かつ生徒会活動等に顕 著な実績を修め、学校 長が推薦できる者 【一般】 男子で中卒(見込含) 17歳未満の者	【推薦】 2025年10月1日～ 2025年11月28日 【一般】 2025年10月1日～ 2026年1月15日	【推薦】 2026年1月10日～2026年1月12 日(いずれか1日) 【一般】 1次: 2026年1月24日・25日 2次: 2026年2月12日 ～2026年2月15日(いずれか1日)
防衛医科大学校 医学科学生	18歳以上21歳未満の者 (高卒者(見込含))又は 高専3年次修了者(見 込含))	2025年7月1日～ 2025年10月8日	1次: 2025年10月25日 2次: 2025年12月17日 ～2025年12月19日(いずれか1 日)
防衛医科大学校 看護学科学学生	18歳以上21歳未満の者 (高卒者(見込含))又は 高専3年次修了者(見 込含))	2025年7月1日～ 2025年10月3日	1次: 2025年10月18日 2次: 2025年12月6日・7日 (いずれか1日)
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者 ※32歳の者は、採用予 定月の末日現在、33 歳に達していない者	年間を通じて行っ ております。	受付時にお知らせします。

お問い合わせ

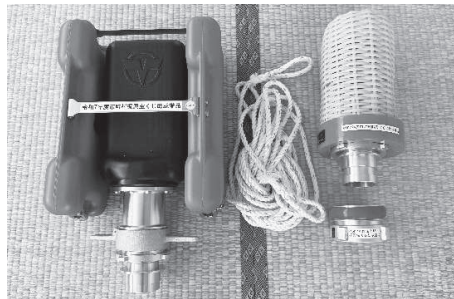
自衛隊長野地方協力本部
長野県長野市旭町1108番地 長野第2合同庁舎
TEL: 026-233-2108

消防団備品の整備について

公益財団法人長野県市町村振興協会が実施している地域活動助成事業を活用し、浮遊型吸水器具「フローティングストレーナー」を木祖村消防団へ整備しました。

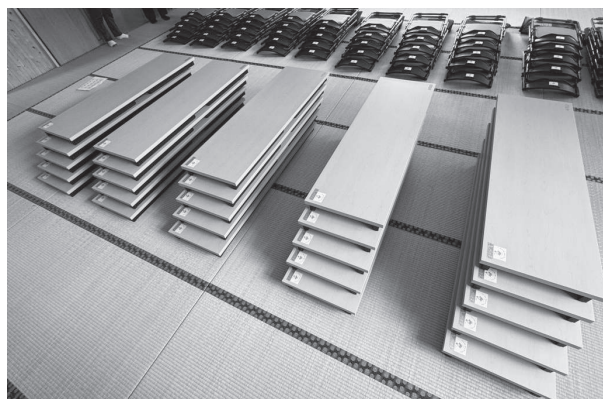
これにより、水深の浅い水利からでも吸水が可能となり、効率的に消火、排水活動が可能となります。

※この事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。



令和7年度コミュニティ助成事業

一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」を活用し、10区-2自治会が机・椅子を宝くじの助成金で整備しました。



行政相談月間

行政相談は、国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。

道路、社会福祉、交通機関、年金、雇用など幅広い分野の相談に対応しています。

行政相談は、総務省行政相談センターきくみみ長野（電話：0570-090110、インターネット行政相談受付 検索）のほか、総務大臣から委嘱された行政相談委員が受け付けています。

総務省では、行政相談制度への理解と認識を深め、その利用を促進するため、毎年9月及び10月の2か月間を「行政相談月間」と定め、この2か月間を中心とした期間において、各種行事を実施しています。

当村では、以下の日時に、相談所が開設されます。

- ◇ 日時：10月14日（火曜日）10：00～12：00
- ◇ 場所：幸せテラスまめのわ相談室
- ◇ 相談受付：行政相談員

「公証週間」について

法務省と日本公証人連合会では、毎年10月1日から7日までの1週間を「公証週間」と定めて、皆さんに公証制度を正しく理解していただくとともに、この制度の御利用を呼び掛けております。公証制度は、私たちの日常生活における法律紛争を未然に防止し、法律上の権利や義務を安定（明確に）させることを目的として、証書の作成等の方法により一定の事項を公証人に証明させる制度です。この公証事務を担当する公証人は、判事、検事、法務事務官などを長く務めた法律実務の経験豊かな者の中から法務大臣が任命した法律の専門家です。次のような約束事には公証証書の作成をお勧めします。

- 遺言
- お金の貸し借り
- 不動産の売買や貸し借り
- 離婚に伴う養育費や慰謝料等の支払
- 任意後見契約（公証証書によることが必要です。）

大切な契約や取引において公証証書は皆さんの権利を正しく確実に守ってくれます。

◆県内の公証役場 所在一覧表

名 称	所在地	電話・FAX
長野公証役場 公証人 福光洋子 大澤新一	〒380-0872 長野市大字南長野妻科437-7 長野法律ビル1階	026-234-8585（電話） 026-234-8558（FAX）
松本公証役場 公証人 秤屋雄一 三宅義寛	〒390-0874 松本市大手2-5-1 モモセビル3階	0263-35-6309（電話） 0263-35-7309（FAX）
上田公証役場 公証人 高澤弘幸	〒386-0023 上田市中央西1-15-32 フコク生命上田ビル3階	0268-22-5477（電話） 0268-28-5007（FAX）
飯田公証役場 公証人 田玉修一	〒395-0033 飯田市常盤町30 飯伊森林組合ビル2階	0265-23-6502 （FAX 兼用）
諏訪公証役場 公証人 岡田治彦	〒392-0026 諏訪市大手2-17-16 信濃ビル3階	0266-53-4641（電話） 0266-78-9030（FAX）
伊那公証役場 公証人 福田克則	〒396-0023 伊那市山寺298-1 福祉まちづくりセンター3階	0265-73-8622 （FAX 兼用）
佐久公証役場 公証人 渡辺英樹	〒385-0027 佐久市佐久平駅北26-7 藤ビル2階	0267-54-8305（電話） 0267-54-8306（FAX）

中信支部行政書士無料相談会

○面接無料相談会

相談日：10月19日（日）午前10時～午後3時

・木曽会場

場所：木曽町文化交流センター3階小会議室
木曽郡木曽町福島5129番地

・塩尻会場

場所：塩尻市市民交流センター（えんぱーく）301・304・305号室
塩尻市大門一番町12-2

○相談内容

・遺言・相続関係について

遺言書や遺産分割協議書の作成、相続財産の調査、家族信託、生年後見制度利用のご相談

・ビジネスをサポートする各種申請

建設業許可、産業廃棄物処理業許可、風俗営業許可、農地転用許可、運送業許可、自動車登録など官公署への申請のご相談

・外国人の雇用や呼び寄せ、在留資格の変更・更新・取得などの申請や永住、帰化のご相談

・その他

各種契約書や内容証明などさまざまな必要書類の作成のご相談

事前予約も承りますので、中信支部へご連絡ください。

お問い合わせ 長野県行政書士会中信支部 TEL：0263-87-3798

旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた方等に対する 補償金等を支給します

請求に関する受付・相談を県の専用窓口で行っています。弁護士が無料でサポートする制度もありますので、相談窓口までお問い合わせください。

○支給対象：旧優生保護法による優生手術・人工妊娠中絶などを受けた本人とその配偶者

○支給額：①補償金 本人：1500万円・

配偶者：500万円（本人・配偶者死亡の場合はその遺族）

②優生手術等一時金 本人：320万円

③人工妊娠中絶一時金 本人：200万円

○請求期限：令和12年1月16日

お問い合わせ 長野県庁（本館4階）旧優生保護法補償金等受付・相談窓口
（健康福祉部 疾病・感染症対策課）

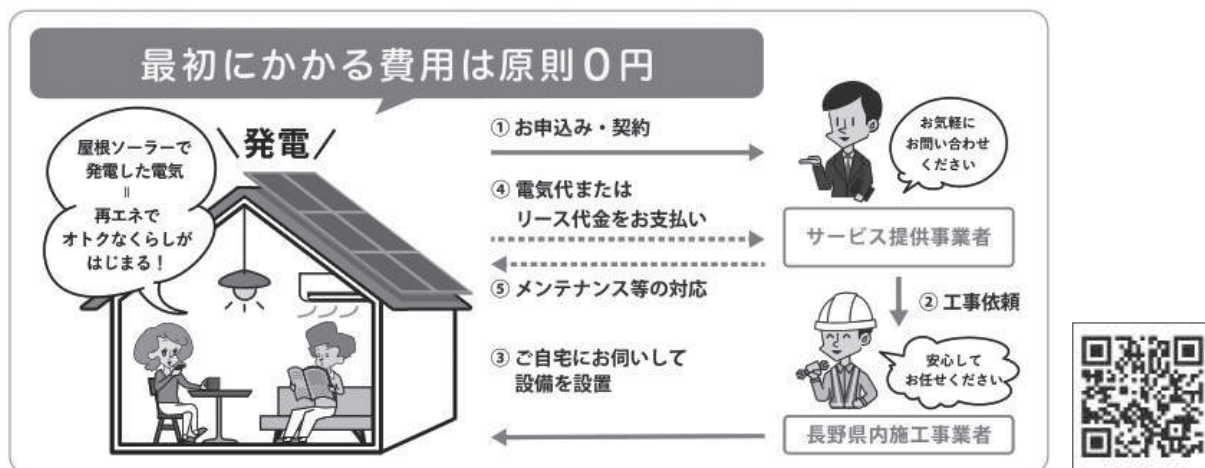
受付時間 平日8:30～17:15（祝日、年末年始を除く）

TEL：026-235-7143

FAX：026-235-7170 メール：yu-sodan@pref.nagano.lg.jp（専用）

つなぐ信州ゼロ円ソーラー

「つなぐ信州ゼロ円ソーラー」は長野県の基準に沿って登録された事業者のプランにより、住宅などに初期費用0円（原則）で太陽光パネルを導入できる仕組みです。原則として長野県内の施工業者がご自宅に伺ってパネルを取り付けます。契約期間中の設備トラブル等への対応が受けられるほか、契約終了後には設備が無償譲渡され、パネルをそのまま利用し続けることができます。



詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.yanesolar.pref.nagano.lg.jp/zero/>

ハロウィンジャンボ宝くじ 発売中です！

「ハロウィンジャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボミニ」が9月19日（金）から10月19日（日）まで全国で2種類販売されています。

ハロウィンジャンボ宝くじ

1等 3億円 × 12本

前後賞各 1億円 × 24本

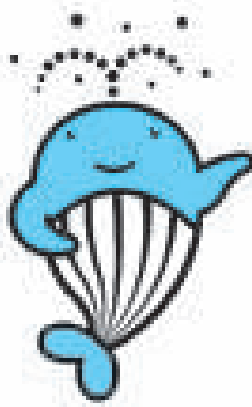
※当せん本数は、販売総額が360億円・12ユニットの場合

ハロウィンジャンボミニ

1等 3,000万円 × 50本

前後賞各 1,000万円 × 100本

※当せん本数は販売総額150億円・5ユニットの場合



この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢者対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

宝くじの収益金は、長野県の販売実績により配分されますので、長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。

TOPICS

戦後80周年平和祈念式典を開催しました

去る7月18日（金）に、村民センターの慰霊碑前で「戦後80周年平和祈念式典」を開催し、遺族会の皆さまや多くの方にご参列いただきました。遺族会の方の献花に合わせて参列者全員で拝礼し、遺族会代表の原孝文様、奥原村長、栗屋議長からそれぞれ平和への願いのお言葉をいただき、その後、小学生代表の上條遥馬さん、中学生代表の清水桜里さんから、『平和の大切さを後世に伝えていくこと』についてメッセージをいただきました。戦後80年を機に、改めて不戦と世界恒久の平和への祈りを持ち続けましょう。



上條遥馬さん



清水桜里さん



木祖村総合防災訓練が行われました



8月24日（日）に木祖村総合防災訓練が行われました。

今年は風水害での想定で、災害時住民支え合いマップをもとに避難所への訓練を行いました。各避難所にて木祖村で導入予定の災害発生時の避難情報を届けたり、住民の避難行動を把握するシステム「シン・オートコール」の説明、災害時住民支え合いマップの見直し等を行いました。

今回の総合防災訓練では約900人の方々に参加していただきました。大勢の参加ありがとうございました。

緊 急 当 番 医									
月	日	医院名	町村名	電話	月	日	医院名	町村名	電話
10	5	田 澤 医 院	木曽町	44-2008	11	2	原 内 科 医 院	木曽町	22-2678
	12	奥 原 医 院	木祖村	36-2264		3	芦 沢 医 院	上松町	52-2018
	13	木曽みたけ診療所	木曽町	46-2266		9	古 根 医 院	大桑村	55-1188
	19	大 協 医 院	上松町	52-2023		16	田 澤 医 院	木曽町	44-2008
	26	王 滝 村 診 療 所	王滝村	48-2731		23	大 協 医 院	上松町	52-2023
						24	木曽みたけ診療所	木曽町	46-2266
						30	奥 原 医 院	木祖村	36-2264

変更のある場合がありますのでながの医療情報 Net (<http://www.qq.pref.nagano.lg.jp>) にてご確認ください。
広報きそ等で村民の方が写っている写真を使用させていただく場合がございます。
ご協力の程お願いいたします。

村民のうごき () 内は対前月比

	人口	男	女	世帯数
8月	2,485 (−3)	1,156 (−1)	1,329 (−2)	1,078 (+2)
9月	2,481 (−4)	1,157 (+1)	1,324 (−5)	1,076 (−2)

広報きそ 392号 (令和7年9月25日発行)

編集／発行：長野県木祖村 総務課

TEL：0264-36-2001 FAX：0264-36-3344

ホームページアドレス：<https://www.vill.kiso.nagano.jp/>

この広報誌は、地球に優しい再生紙を使用しています